

# 大阪府退教情報

2024年6月17日

発行第61号

発行者:大阪府退職教職員連絡協議会

代表:青柳 隆

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町

7-11 大阪教組気付

電話 06-6762-7999

## 2024年度日退教組織代表者会議

☆憲法「改正」反対 平和・人権・環境の尊重

☆民主教育を守る取り組み

☆原発再稼働を許さず、脱原発へ

☆社会保障の充実・発展

☆組織の拡大・強化の取り組み



日本退職教職員協議会（日退教）の2024年度組織代表者会議が、東京都千代田区一ツ橋にある日本教育会館で全国各単会参加の下、6月7日(金)に開催されました。

議長団選出の後、竹田邦明日退教会長があいさつに立ち、組織人員の減少傾向が続いていること、それにより財政状況が非常に逼迫しており、組織拡大が最も重要な課題だと述べました。政治状況については、裏金事件に伴う政治資金規正法改正の問題、自民と維新との連携は憲法改悪の動きに直結している等懸念する状況が続いていること。社会保障をめぐるっては合計特殊出生率が1.2となる等少子化が止まらず将来の最大のリスクとなっている。年金、介護、医療と将来の持続可能性のある社会保障の確立を求めなければならないと述べました。

次に日教組の薄田綾子政策局次長が「持続可能な学校をめざして」というテーマで働き方改革の現状について説明しました。超過勤務が日常となっている中で、中教審特別部会が「審議のまとめ」とした教職調整額10%以上や教科担任制の拡大、スタッフ職の配置などでは抜本的な改革にはならず、給特法の廃止、教職員定数の改善等が急務と指摘しました。

その後、議事が進められ、2023年度経過報告と2024年度当面の活動に関する件、並びに2023年度一般会計・特別会計報告、2024年度一般会計予算案が提案され、全体の拍手で確認・承認されました。討論では各単会から活発な発言が続きました。その中でも、石川からは能登半島地震に対する支援に感謝の言葉が述べられ、未だ復興とは程遠い状況あることが報告されました。志賀原発については、道路が崩れ、寸断され、避難者を運ぶバスは動かず、避難計画は「絵にかいた餅」。廃炉をめざしてがんばりたいと決意が述べられました。

組織代表者会議の最後に、「政治の流れを変えよう 誰もが平和で、安全な社会で生きるために」とする決議を満場一致で採択し、団結ガンバロウを三唱し閉会しました。

その後日退教50周年記念レセプションが開かれ、参加者一同1973年の発足以来50年の歩みを振り返りつつ、交流を深めました。(文責 青柳)



「憲法第九条を誇りにする会」からのお知らせとお願い

### 『20年のあゆみ』(冊子)をご購読ください

「憲法第九条を誇りにする会」が第20回総会記念企画として開催したパネルディスカッションの記録、発足の呼びかけ(抄)、フィールドワーク年表を収録した『20年のあゆみ』(A4判 30p オフセット・モノクロ)が完成しました。

頒価 100円としています。

個別郵送等のご希望には対応できませんので、会員が窓口となって府退教・退女教・各単会などの会合で販売させていただきます。合わせて、文字起こし・少部数印刷のため費用がかさみましたので、できればカンパをお願いしています。

よろしくお願ひします。

#### 第1回単会代表者会議を開催します

日時 6月20日(木) 午後1時30分～  
場所 大阪市立社会福祉センター会議室

訂正 第60号で、デモ出発地を「エルおおさか」とありましたが、正しくは「ドーンセンター」でした。